

## ◇恒例の迷釣会「明石のタコ釣り」の報告

今年も沖釣りクラブ「迷釣会」恒例の「明石のタコ釣り」が行われました。「迷釣会」はオーディオ・ビデオの沖釣り仲間が中心となって1990年頃に創設された釣りクラブです(現在の会長は富田義数様)。洋友会大東地区のクラブではありませんが、洋友会の会員の方も参加されています。今年も洋友会大東地区役員の池本幹事が参加されましたので恒例になりましたが、釣り仲間との交流と釣り成果を報告していただきました。

- <釣行日> 2019年7月27日(土)
- <時間> 午前6時～午後1時
- <釣り船> 小松乗合船(明石林崎漁港)
- <釣り場> 二見沖
- <釣り人> 富田義数(会長)、山田義明(幹事)、岡田久男、人見正明、森西泰年、三原良和、廣瀬進、大島一男、澤田砂織、田所正光、池本佳市

自宅に帰り庭で釣り具を洗っていると、老人会のカラオケクラブの仲間が例会帰りに通りかかって、「明石に行ったんやろ」「どうやったんや？」まったくもって遠慮会釈も

ありません。沖釣りクラブ「迷釣会」の皆様にご誘っていただいたのが2015年の盛夏。それから毎年ご一緒させていただき、今年で5回目となりました。しかし、過去の戦績は0勝4敗と惨敗続き、折しも台風6号が和歌山近海で突如発生するという“運”の悪さ。そう言えば、去年の釣行時にも台風12号だったか、何を血迷ったのか東から西に向かって来るというような信じられないことが起きたことを思い出しました。もし今回もダメだったら釣行記の寄稿を辞めよう、迷釣会との縁も切ろうと密かに心決めて釣友の田所さんに同乗させていただき明石林崎漁港を目指しました。

**富田会長** 7月27日(土)、暑い中でのタコ釣りを覚悟していたら突然の台風6号襲来、いつもと違って南太平洋から紀伊半島の南西側に上陸の様相です。準例会の開催が心配されましたが出船とのこと、まずは一安心です。予定通り6時に出船、船は二見方面(明石から西方)に向かいます。心配していた風、雨も大丈夫みたいです。ポイントに到着、新しく買い求めたタコエギを2つ付けて投入、何度か誘っていますとジワッとした重みが。鬼合わせをすると竿に重みが。早速1杯目をゲットです。その後、2杯を追加しますが、その後が続きません。船頭助手(?)のおじいさんが、「今日は潮が早いから釣れへん」とのお言葉。そんなものかと思いつつもしっかりと竿を振りますが、忘れたところにポツリポツリと釣れます。船の後方を見ると投入ごとにタコをあげているお兄さんがいます。観察して見ますと、仕掛けはタコエギ、船べりから10m程遠くに投げ、しきりに竿をシャッフルしています。通常ですと仕掛けは船べりから真下に降りています。船は潮に乗せて動いているので、船の真下のポイントに40名が探っていることに。その釣ったお兄さんは遠くに投げて幅広く探っていたということでしょうか。こういう釣り方も



あるのだと感心です。釣果の方ですが、潮が緩くなったところからよくアタリがありました。仕掛けですが、途中からは船宿支給のタコテンヤに持参のサンマの三枚おろしを巻きつけました。【釣果:19杯】

**山田幹事** 月例24.3日の長潮、満潮3:37、干潮11:03とタコ釣りとしては、前半は潮が速い条件での釣行となりました。釣り場は、前日発生した台風6号の雨雲を避けるように、東二見沖です。ここは、水深が10mまでと浅く、手返しが早く、数が期待できる場所です。スタート直後、幸先よく田所さんに初乗りです。型は小さいものの、ファーストヒットがスタート直後ということで否応なしに期待が高まります。今年は、一昨年から、ブームになっていたタコエギに加え、タコスツテが全盛で、小生もご多聞に漏れずタコスツテで挑戦です。第2投目にサンマの餌巻きスツテに早速ヒットしましたが、なぜか、その後3時間、右舷の爆釣している仕掛けを参考に、デビルクローを主体にエギやスツテを組み合わせても、ノーヒットに終わり、止むを得ず実績のタコテンヤに切り替えました。タコテンヤに切り替え後、爆釣とまでいかないまでも、801gの中型をゲットすることができ、釣行を終了しました。迷釣会のタコ釣りでは、昨年が14杯、一昨年が11杯と年々貧果に終わり、反省しきりです。今年の敗因としては、デビルクローに拘り過ぎたことに尽きるかと思えます。【釣果:9杯、最大801g】

**人見** 初めてのタコエギの挑戦でした。始めはなかなか釣れず焦りましたが、3匹目にお祭りで取込損ねた後は、釣り場を変えるごとに順調に一杯ずつ積み重ねていきました。途中中だるみがありましたが、エギをトラ色に変えてからさらに釣果が伸び、最終的に自己最高の21杯となりました。これも山田さんのご指導とお借りした愛用の竿のおかげと感謝します。大島さんにも頂いた豚の背脂、感謝します。【釣果:21杯】…人見さん、竿頭です！！

**森西** 二年ぶりの明石のタコ釣り、楽しかったです。山田さんからのいろいろのアドバイスを受けてタコエギ、タコスツテ、他の小道具など約5千円を投資して楽しく準備をしました。前日までの台風情報が気が気でなかったが、結果OKで出航できてやれやれの思いでした。明石は瀬戸内で波も少なく船酔いの心配もなく釣りに専念できました。準備をしたタコエギ、タコスツテを3個付けて投入したがなかなか釣れず今日はゼロかなと思っていたら小さいながらタコがくっついてきました。タコが釣れたのが分からなかったのです。前に手釣りでやった時には感触で分かったのですが、竿釣りは難しい。やっと二匹目が釣れてやれやれと思ったのですが、それからが一向に釣れません。場所を変えても釣れず、船頭からの昔の仕掛け(タコテンヤ)に鰯を付けて投入したらやっと少し大きめのタコが釣れてホッとしました。場所が良かったのかそれからはちょくちょく釣れ楽しいタコ釣りでした。今までの最高で、当初の目標の二桁が釣れて満足です。家内が早速、蛸飯を作ってくれて大変うまかったです。【釣果:13杯】

**三原** 天候もさほど荒れず、むしろ暑くなかったので良かったです。去年、野村さんがエギにサンマを巻き付けてバンバン釣っていたので、今年真似してみました。2杯トントンと来たので良しと思いきやぴたりと止まり、しんどい時間が結構続きました。最終的には、自分としてはそこそこの数が釣れましたが、良型は4杯で残りは小型でした。みよしや鱸の方は大型が多かったように見えたのは気のせいでしょうか。当日の夕食は、オーソドックスに湯がいた刺身と、家内がWebで見つけたレシピで作ってくれたシメジとタコの和風スパゲティと、白子か何か不明ですが(後に卵巣と判明)、ワタの中の白い玉を湯がいてポン酢で食し、ブランドたこを堪能しました。日曜はたこ飯とタコのトマトソース煮で、しばらくタコが続きそうです。【釣果:16杯】

**池本** えっ、台風6号、なにそれっ！まさに降って湧いたような天気予報に前途多難を思わせる令和元年のタコ釣りの幕開け。フィッシングエイトで購入した今年の新作のタコエギに「豚の背油(ロード)」を括り付けて第1投…。投げ入れた途端にぐいっとは、隣の席の田所さん。次に来たのは、逆隣の山田幹事さん。私と云えば、「…。」ただ、いつもはこれでジ・エンドなのですが、今回は「胸に期すもの」があり、折角の大枚投資のエギをあっさりと諦めテンヤにチェンジ。船支給のアジにロードを抱かせて投入。それが奏功したのか、何と「2杯」を連続ヒット。調子に乗って、いける、ぐいっ、やった！と鬼合わせ…何とテンヤのサルカン(糸と仕掛けを結ぶ金具)が

外れ、テンヤは海の藻屑と消えてしまいました。仕方ないので元のエギに戻して再開、音なしが続く…。そうこうしている時に山田幹事さんから船貸与の手釣りのテンヤを外して使ったらとアドバイスがあり、そこで「秋刀魚」を持って来ていたことを思い出し、テンヤに秋刀魚を括り付け投入…重いつ！必死にリールを巻く。山田幹事さんがタモ(網)で…何と1,037gのキロオーバーをゲット。そこから次々とヒット。最終的には二桁に到達という望外の釣果を得ることが出来ました。【釣果:11杯】

恐れていた風雨も大したこともなく、むしろ炎天下よりましな気象状況。そして、私(池本)は実力以上の釣果でようやく自己評価ながら1勝目を上げることが出来て、この釣行記の作成、老人会のカラオケクラブの仲間の皆さんにタコのおすそ分けへとつながりました。貴重なアドバイスをいただいた山田幹事さん、今年もお誘いいただいた富田会長さん、迷釣会の皆さん、有難うございました。厚かましくも、来年もよろしくお願いします。

(池本 記)

### ◇秋の日帰りバス旅行のご案内

#### ☆麒麟ビール神戸工場見学とフルーツフラワーパーク内見学に決まりました

2019年の秋の日帰りバス旅行は、豊かな緑と季節の花々に囲まれた「麒麟ビアパーク神戸工場」の見学と神戸のガーデンリゾート道の駅「フルーツフラワーパーク」などを訪ねます。特に、麒麟ビール工場では、ビール・発泡酒の原料をはじめ、仕込み行程、パッケージ行程などビール・発泡酒が出来るまでを気軽に見学コースで楽しむことと試飲をすることが出来ます。また、昼食は神戸ホテルのランチバイキングを楽しみます。

尚、詳細案内は、P.7～P.8 の「秋の日帰りバス旅行ご案内」をご覧ください。是非多くの会員の皆様のご参加をおまちしております。

(担当 森山)

### ◇第17回洋友会水彩画教室展の案内

教室展も回を重ねて今年で17回目となります。その間、多数の方のご来場を頂き感謝しております。今年も会員の一年間の労作を発表させていただく恒例の教室展を下記要領で開催いたします。どうぞお気軽にご高覧いただければ嬉しいです。是非お越しください。

◆開催期間 : 2019年10月11日(金)～16日(水)

◆開催時間 : 午前10時～午後5時

但し、初日は午後1時から、最終日は午後4時迄です。

◆開催場所 : 守口文化センター3階ギャラリー

(京阪守口市駅下車 徒歩2分、京阪百貨店南隣)

◆展示内容 : 水彩画教室会員・先生の作品を展示(一人2～3点を出展します)

(担当 天田)

### ◇第5回カラオケクラブの特別養護老人ホーム慰問のご報告



8月23日(金)予定通り、特別養護老人ホーム「南郷の里」へ今年5回目のカラオケ慰問を実施しました。参加者は、静山会長、丸山さん、赤木さん、大出ご夫妻、池内の6名です。今回は施設一階の広間で施設保有の設備にて行いました。赤木さんの健康運動も取り入れ盛り上がりました。次回は11月25日を予定しております。

(担当 池内)



## ◇特集:三洋ブランドアジアで健在

### ☆高い知名度でブランドを継続(読売新聞の記事)

読売新聞8月9日朝刊の経済欄で「三洋ブランドアジアで健在」の特集記事が掲載されました。すでに読まれた方もおられると思いますが、記事概要を会員の皆様にお知らせしたいと思います。

三洋電機は、2009年にパナソニックと経営統合を行い国内では三洋電機ブランドの商品はなくなりましたが、海外では今でも存在感を示している商品と国があります。高い知名度やシェアを誇る国もあるため、パナソニックは今後も例外的な措置として三洋ブランドを維持していくことにしております。

<海外での SANYO ブランド商品>

- ・電動ポンプ(シェアはインドネシアでトップ) → インドネシア
- ・エアコン → インド
- ・液晶テレビ → インド、中国、北米
- ・洗濯機など白物家電 → 中国



#### ①インドネシアにおける電動ポンプ

電動ポンプは年間170万台を生産する主力商品で、現地ではポンプのことを「サンヨー」と呼ばれるほど、ブランドが浸透している。三洋電機はインドネシアでは生活用水を井戸に頼る地域が多く、安価なポンプが欠かせないと1969年にいち早く輸出をはじめ、1990年に現地生産に切り替えている。現在では、同国内でのパナソニックブランドと合わせたシェアは5割とトップになっている。

#### ②インドにおけるエアコン、液晶テレビ



三洋電機が家電でインドに進出したのは1982年と古く、現地の合併会社で三洋ブランドのビジネスを展開するなど知名度が高い。このため、2016年にネット通販向けの液晶テレビで三洋ブランドを復活させている。また、今年の4月に「SANYO」ブランドの家庭用エアコンを新発売した。インターネット通販限定で5機種をそろえ、廉価モデルでは約3万6000円と手ごろだ。中国勢が格安エアコンで攻勢に出るなか、高価格帯のパナソニックブランドとすみ

分けて対抗する狙いがある。

一方、パナソニック以外の企業が、国や地域ごとに三洋ブランドの使用権を得て商品展開しているケースもある。船井電機が北米向けに液晶テレビ【写真】を扱うほか、中国では現地企業がテレビや白物家電を販売している。

以上が、今回の読売新聞に掲載された記事概要となります。このように「三洋ブランド」の商品が今でも海外で事業展開されていることに三洋出身者として誇りに思うところです。

(担当 中山)

## ◇今月度プルタブ収集のご協力者を紹介します

小西 昌様、増田 松太郎様、中野 正明様、森 栄孝様、守屋 寿文様、西脇 直次様  
いつも回収活動にご協力いただき有難うございました。引き続きよろしくお願ひいたします。

## ☆プルタブ回収規定量(800kg)に達し大東地区に車いす1台寄贈されることになりました

会員の皆様のご協力によりプルタブ回収活動を展開してきましたが、この度本部全体で規定の重量(800kg)に達して、車いす1台が寄贈できることになりました。本部で検討の結果、今回は大東地区にて寄贈することになりました。早速、大東市社会福祉協議会へこの旨をご連絡し協議の結果、寄贈先を大東市社会福祉協議会へ寄贈(福祉会館内で使用)することにしました。尚、日程等は未定ですが、決まり次第大東地区だよりにてお知らせいたします。

## ◇今月度 金婚(50周年)お祝いのご紹介

### ・石野 雄三さん

おめでとうございます。これからも仲良くお幸せに！！

### ☆金婚(50周年)お祝いを受けられた会員からのお便りを紹介します

今月度金婚のお祝いを受けられた石野雄三さんからお便りを頂きましたのでご紹介します。

### 《石野雄三様ご夫妻からのお便り》



定年後、妻の故郷である島根県出雲市にIターンして16年になります。働くことで精一杯、家の事、子供の事等々、妻には苦勞をかけたことと思います。その上数回入院した私、Iターンの話には少しでも恩返しでした。妻の広い庭でのガーデニング、私はテニスと野菜作りとの想いでスタートでした。先輩のアドバイスで、“人が見たくなる庭”+“自己満足”の庭に少し近づいたかな！目指してきた“木々に囲まれた住まい”、山小屋のような小さな家でスローライフを楽しんでいます。「元気で生きている」二人です。77歳妻と共にこれからもこの言葉通りに過ごしたいと思っています。

【追記】写真は昨年喜寿の祝いで、ハワイ船上ディナーでのものです。

## ◇在籍会員数

会員総数 513名(2019年8月25日現在)

## ◇編集後記

残暑が続いておりますが、会員の皆様はいかがお過ごしですか。

夏には地域活動が活発となり夏祭り、地域パトロール、防犯パトロールなど子供さん、お孫さんと接触する機会が増え気分的にも若返る良い機会でもあります。積極的に地域活動に参加してください。私も地域防犯推進委員として活動に参加し地域交流を図りました。これからは、秋の気配となっていくと思いますが、健康増進の良い機会でもあります。まず歩くことから始めてください。(Y・N 記)

洋友会大東地区宛の連絡・記事投稿は下記FAX又は、Eメールでお願いします。

TEL・FAX 072-870-3400

Eメール [info@yoyu-daitou.daa.jp](mailto:info@yoyu-daitou.daa.jp)

洋友会大東地区ホームページアドレス

<http://yoyu-daitou.daa.jp/>